

京都

大
らるつきまわりんぐ

南禅寺水路閣

インクライン

季節は夏。みなさんはどのようにお過ごしですか？ 今回紹介するのは異国情緒あふれる水道橋と、のどかな坂道にある線路跡です。南禅寺近くを観光するときにはぜひ散歩してみてください。
(小五郎)



▲ハイカラな洋式アーチ。和と洋が見事に調和している



▲水路閣の橋の下。橋の長さがよくわかる

▼水路閣の上から清涼感あふれる小道が続く



南禅寺水路閣

なんぜんじすいろかく

広大な南禅寺の奥に荘厳な雰囲気を感じながらそびえたつ南禅寺水路閣は1888（明治21）年に建設されました。古代ローマの水道橋を模したもので、煉瓦造、アーチ構造の優れたデザインを持っています。

当時を代表する大事業であった琵琶湖疏水事業の一環として建設され、現在でも橋上を水が流れています。

水路閣という粋な名を持ち、今では南禅寺の境内になくてはならない存在になりました。



▲一直線に延びる線路。穏やかな風下がりを出してくる



▲蹴上舟溜には今でも台車・舟が残されている

インクライン

いんくらいん

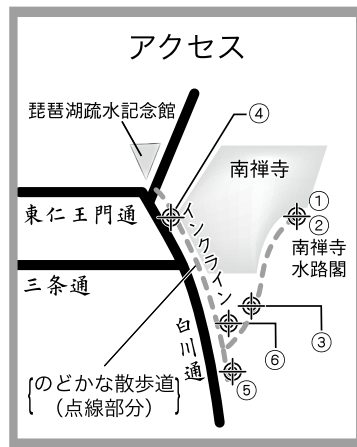
インクラインとは、琵琶湖疏水の開通により建設された傾斜鉄道のことです。水路落差のため舟が航行できなかった蹴上舟溜～南禅寺舟溜間を、舟ごと台車に乗せることで運びました。

今では使われていませんが、今日の京都を築いた遺産として後世に伝えるため、台車・舟・線路が保存されています。

桜の名所として有名ですが、近くには日本初の水力発電所である蹴上発電所や蹴上浄水場もあり、季節を問わずのどかなひとときを提供してくれます。



▲琵琶湖疏水事業を記念して建てられた田邊朔郎像



琵琶湖疏水事業は、首都機能移転により廃れた京都を復興させようという計画され、主任技術者として弱冠23歳の田邊朔郎が任命されました。明治初期という西欧技術が導入されて間もないころに日本人のみの手で設計・施工され、日本の近代化遺産として非常に貴重なものになっています。

はみだし
すてーじ

コンスタンティノスコンスタンティニディスは好きですか？
⇒名前が好きです。でもラファエル・フェルディナント・ファン・デル・ファールトのほうがもっと好きです。

(工・3 ルマンのソレイユ)

(オランダ大好きですから；編)